

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で（ヨシエル）」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う
神は、人生の終わりに、この道を歩んだ一人ひとりをご自身の「宝」として、神の御国に
迎えてくださる 詩篇119：7、エペソ人6：5「真心から」、マタイ13：44-46

神の贖いの人間史

最初の人類（アダムとエバ）、神の御命令への反逆で神から離れる
全人類、全地、創造時の神との正しい関係を喪失

→ ③ 正確な人間史

神、全被造物の救い、一贖い—のための方法、手段を選びの民に、世代から世代へと告知
天地創造前からの神のご計画は「御子による全人類の救い」
使徒の働き17：24-31、2：23-24、3：18、エペソ人1：9-10

ご自身を顕される神 詩篇19篇 1. 1-6節 2. 7-14節

1. 神は創造の初め、人類救済のご計画の“デザイン”を全宇宙、被造物に刻まれた

2. 聖書

歴史書：

神が記された全人間史 —創造の初めから終わりまでを網羅—

預言書：

近未来預言：イスラエル史、人間史においてすでに成就（実現）

神の預言の信憑性を実証

遠未来預言：未来の成就是百パーセントの確率

預言：独占的に、唯一真の神ヤーウエの領域 イザヤ書41：21-24、44：7ほか

神の靈感によって書かれた「神の言葉」：

永久、普遍的に教え、戒め、矯正、訓練に用いられる

テモテ第二3：16-17、ペテロ第二1：21、詩篇119篇、マタイ24：35、イザヤ40：8

神の啓示告知のアプローチ：

神のご計画、御旨は何世紀にも亘って、選びの民、神の人に徐々に顕された ヘブル人1：1

モーセ五書“トーラー” —モーセによって書かれたヘブル語（旧約）聖書最初の五書— 創世記

書名が示すように、「起源」の書

神の天地創造、人間の墮落、最初のメシヤ預言、ノアの洪水、
地上の諸民族の起源、
選びの民イスラエルと神の契約関係

出エジプト記

エジプトでの隷属下から救出され、神との契約関係に入ったイスラエルの民の
荒野で過ごした一年余に亘る生活の記録の書

モーセを通して働かれた神

奇蹟：歴史にご介入される（た）神の証し、神の足跡

民、紅海（「エドムの地の葦の海」、アカバ湾 列王記第一9：26）を渡り、ミデヤンの地へ

出エジプトの出来事の一ヶ月半後、「アラビヤにあるシナイ山」（ガラテヤ人4：25）で

律法授与（「十戒」をはじめ、諸々の掟）

聖書

レビ記

ヘブル人（イスラエル）に与えられた「祭司の掟」、「祭司制度」の書

「いけにえのためのささげ物」による定期的な罪の贖^{あがな}いの必要性、「主の例祭」を詳述
 ⇨「旧約のいけにえ制度」が予兆、予期したのは最初で最後の「完璧ないけにえ」
 イエス・キリストによる贖いの死、永遠の救いの必要

民数記

神の民イスラエルの三十八年に亘る荒野での神への反逆、不満、不信仰の放浪生活の記録の書

他方で、民との契約に忠実な神の愛と義なる裁きを記録

申命記

信仰と従順を奨励し、神の民としての生き方を指し示した「第二の律法の書」

神が約束された地「カナン」入植を目前に、モーセがイスラエルの民に語った最後の説教
 シナイ山を離れた後、荒野を放浪せざるを得なかった不忠実、反逆の民に、背信の過去を
 思い起こさせ、再度、神への忠誠を誓うことによって、契約更新へと導いた出来事を記録

創世記5章

最初の人「アダム」に続くヘブル人の名にはそれぞれ意味がある

- | | | | |
|-----|-----|-------|-----------------|
| 1. | 3節 | アダム | 人 |
| 2. | 6節 | セツ | 定められた |
| 3. | 9節 | エノシュ | 死すべき、惨めな |
| 4. | 12節 | ケナン | 悲しみ |
| 5. | 15節 | マハラエル | 祝福の神 |
| 6. | 18節 | エレデ | 降りてくる |
| 7. | 21節 | エノク | 教える |
| 8. | 25節 | メトシェラ | 彼の死はもたらす |
| 9. | 28節 | レメク | 絶望的な |
| 10. | 29節 | ノア | 解放をもたらす → 休息、慰め |

全人類の最初の父祖十人の名に託された預言：

人は定められた。死すべき、悲しみに。
 しかし、祝福の神は、降りて来られ、教えてくださる。
 ご自身の死がもたらすことを。絶望的な（者）に、休息を。

⇒このメシヤ預言は人為的な細工ではなく、神に起因する預言

アダム：神によって直接創造された「人」、全人類の父祖

エノク：アダムから七代目のエノク、記録されている最初の預言者

—メシヤ来臨、再臨— を預言 ユダ14-15節
 メトシェラを生んだ後、「神とともに歩んだ」 創世記5：22、：24
 「息子メトシェラが生きているかぎり、洪水はとどめられる」という
 「世界的大洪水」の預言を神から受けたに違いない
 「神が彼を取られたので」、死を経験しないで地上から消えたエノク、
 天界、神の御許で生きている 創世記5：24

メトシェラ：預言者エノクの長子の名には預言が託された

「彼の死はもたらす」
 死んだ年、全地を洪水が襲った
 人類史上、最高齢の長寿を全うした

聖書

メトシェラが187歳のとき
レメクが生まれ、レメクが182歳のとき
ノアが生まれ、ノアが（ ）歳のとき大洪水が起こった
その年、メトシェラは969歳の長寿を全うして死んだ

大洪水 創世記7：11

この系図から得るメッセージ：

- ⇒メトシェラの人生、来るべき「神の裁き」に先んじた憐れみの期間、
—最大限に引き伸ばされた憐れみ— を象徴
- ⇒エノクの人生、この世で「神とともに歩む」、—唯一真の神の存在を信じ、
死に至るまで神の御旨を行う人生を送る、信仰を全うする— 者は、
神の御許で永久に生きることを象徴

聖書の驚くべき「背理」

地上で最高齢を全うした息子メトシェラ、父エノクより先に死んだ！

新約時代、キリストは言われた：

「わたしを遣わした方のみこころは、わたしに与えてくださったすべての者を、
わたしがひとりも失うことなく、ひとりひとり終わりの日によみがえらせることです。
事実、わたしの父のみこころは、子を見て信じる者がみな永遠のいのちを持つことです…」
(ヨハネ6：39-40、下線付加) と。

ノアの洪水：予告なしに地を襲ったのではなかった
四世代に亘って、予告された

洪水直前の出来事 創世記7：1-16

1. 信じる者に対する完全な守り：
新約の時代、信徒に対する救いの保証「聖霊による証印」 エペソ人1：13-14
2. 神の憐れみ：
最後の瞬間まで開かれている戸
3. 必ず来る神の裁き：
神の憐れみの終わるときが来る マタイ25：1-13
ご自身、人々を招き入れる「門」である神、戸を閉じられる ヨハネ10：9
4. 神の御旨は全人類に対する救いへの招き：
「入りなさい」(7：1) イザヤ書55：1、マタイ11：28、黙示録22：17

洪水の終わり 創世記8：4

「箱舟は、第七の月の十七日に、アララテの山の上にとどまった」(下線付加)
⇒洪水後の新天地、新しい時代の始まり

聖書

ユダヤ (ヘブル) 暦の月	旧暦 [民事暦] 創世記の時代、旧暦だけ使用	新暦 [宗教暦] 出エジプトの出来事以降導入
ティシュリの月	第一月 (新年)	第七月
マルヘシュバン	第二	第八
キスレウ	第三	第九
テベテ	第四	第十
シェバテ	第五	第十一
アダル	第六	第十二
ニサン (アビブ)	第七	第一 出エジプト記12:2
イヤル	第八	第二
シバン	第九	第三
タンムズ	第十	第四
アヴ	第十一	第五
エルル	第十二	第六

旧暦の「第七の月の十七日」 → ユダヤ暦名では「ニサンの月の十七日」
新暦の「第一の月の十七日」に該当

→ ⑨ 同目的に用いられる年月日

ユダヤ暦の「ニサンの月の十七日」

ヘブル人の「主の例祭」の春の三つの祭り レビ記23:5-14
 ニサンの月の第十四日 過越の祭り
 第十五日 種を入れないパンの祭り #
 安息日の翌日 初穂の祭り

七日間続く「種を入れない祭り」の初日は安息日で、「大いなる日」と呼ばれた
 レビ記23:7、ヨハネ19:31

イエス・キリストの受難週†の足跡

ニサンの月の十四日 過越の祭り
 +3 三日三晩、墓の中 マタイ12:40
 十七日 初穂としての甦り コリント人第一15:20-23

†キリストの受難週:

「大いなる日の安息日」、「週ごとの安息日」を経て、「週の初めの日」の早朝、
 キリストは甦られた ヨハネ20章ほか、全共観福音書
 ⇨ 神の新創造の時代の始まり

神のデザイン

→ ① デザインの一貫性

聖書の冒頭の書に、神は「人間を罪から贖うご計画」を織り込まれ、
 そのデザインは、聖書の最後の書まで見事に「統合一貫」
 ⇨ 「最初から最後まですべてを知っておられる方」を証し
 イザヤ書41:4、46:10、黙示録22:13ほか

聖書の起源

聖書は、四次元を超えた外の次元からの書、起源はこの世の外、神ご自身に由来